

佳作

## うしろのびよりとわたし

岡山県岡山市立福浜小学校二年 中野 結奏

わたしは一がたとうにようびようです。小学生になる二か月前にびようきがわかりました。さいしょにびよういんにいったとき、きゆうににゆういんしてくださいといわれて、わたしもかぞくもみんなびっくりしました。にゆういんしてからは、まいにちごはんの前にインスリンちゆうしゃをうつようになりました。一日に三回いじようちゆうしゃをうつのはいたくて、いやだとおもう日もあります。でも、パパやママやいもうとたちがおうえんしてくれるおかげで、まいにちちゆうしゃをがんばることができました。入学するころには、自分でインスリンちゆうしゃをうつようになりました。ひとりでインスリンをうつようになって、びよういんの先生もかぞくもたくさんほめてくれました。ほめてもらえてうれしかったです、じしんがつかまりました。

びようきがげんいんで、ていけつとうになったと

きは、ふらついたり、ちからがはいらなくなることであります。小学校でていけつとうになることがさいしょはふあんでした。でも、先生がクラスのみんなにびようきのことをはなしてくれたから、すこしあんしんしました。わたしがていけつとうになって、ほけんしつにいたり、そうじをせずにはすわって休んでいるときに、わるぐちを言う人はだれもいません。先生もやさしく声をかけてくれるし、お友だちもしんぱいしてくれます。びようきになっていやなことやたいへんなこともたくさんあるけれど、まわりのみんながおうえんしてくれたり、とてもやさしくしてくれるので、わたしもちりょうやけんさをがんばっていきたいです。